

# CTA1200/3200/1100

## 定電流コントローラ

CTA型定電流コントローラは、内蔵半固定抵抗器(VR)、外付けVR、アナログ電圧入力で設定された一定電流値を出力します。

定電流制御によりパウダ、ヒステリシス方式のクラッチ・ブレーキのトルクを一定に保持することができ、安定した張力を得ることができます。



### ① 特長

#### ■定張力制御

パウダ、ヒステリシス方式のクラッチ・ブレーキは、通電によるコイル温度上昇や環境温度の変化でコイル抵抗値が変化するので、一般的な定電圧制御では電流値が変化してトルクが変化してしまいます。

このコントローラは定電流制御方式なので、温度変化によるコイル抵抗値変化の影響を受けずに設定電流を供給し、一定のトルクを保持します。

#### ■各種設定が可能

出力電流の設定は、端子台横に設置されている内蔵半固定VR、端子台に接続して手元に設置できる外付けVR、端子台に供給するアナログ電圧を選択できます。

内蔵半固定VRで設定する固定的な使用方法、外付けVRで手動設定する使用方法、アナログ電圧で設定を可変するリモートコントロールが可能です。

#### ■ヒステリシスモード

ヒステリシスクラッチ・ブレーキは急激な電流低下や停止している状態での電流低下により、残留トルク(コキング)が発生する場合があります。

ヒステリシスモードを選択すると、設定値を変化させた場合とリモートオン/オフ切り替え時に徐々に出力電流が変化しますので、ヒステリシス製品の残留トルク(コキング)の発生を防止できます。

#### ■簡単な設定

定電流制御では、コントローラに接続する負荷の抵抗値を設定する必要があります。

このコントローラは、設定がプリセットされていますので、接続するクラッチ・ブレーキの型式に応じてスイッチを切換るだけで簡単に設定できます。

### ② 仕様

#### 【CTA1200/1100】

- 入力電圧…DC24~26V 電圧変動が±0.1V以下  
最大2.0A
- 出力電流…1.5A以下
- 適用負荷…DC24V 36W以下のクラッチ・ブレーキ  
及び当社製OPシリーズ、Hシリーズの  
クラッチ・ブレーキ
- オーバーロード検知出力…  
NPNオープンコレクタトランジスタ  
DC30V 50mA以下  
1.5A以上で作動後状態を保持し、赤色LEDを点灯  
入力電圧を遮断すると解除
- 質量…270g以下(CTA1200)、  
130g以下(CTA1100)

#### 【CTA3200】

- 入力電圧…DC24~26V 電圧変動が±0.1V以下  
最大3.5A
- 出力電流…3.0A以下
- 適用負荷…DC24V 72W以下のクラッチ・ブレーキ
- オーバーロード検知出力…  
NPNオープンコレクタトランジスタ  
DC30V 50mA以下  
3.0A以上で作動後状態を保持し、赤色LEDを点灯  
入力電圧を遮断すると解除
- 質量…280g以下